

令和4年 9月 9日(金) 中央学校給食センター

【献立名】 麦ごはん 牛乳 高野豆腐の落とし揚げ キャベツの即席漬け  
お月見団子汁



【ひとロメモ】

## 十五夜について知ろう

(食文化)

明日は中秋の名月、または十五夜と言って、1年中で月が一番美しく見える日です。この時期の空は澄んでいて月がきれいに見えます。よく晴れた夜に、月をながめてみるのもいいですね。

月は昔から農業に深く関わってきました。人々は、月の満ち欠けを見て、いつ、どんな農作業をしなくてはならないのかを目安にしていました。月のおかげで食べものが育ち、収穫できることから感謝の気持ちとこれからの豊作を願って、里いもやだんご、枝豆など、その年にとれた食べものをお供えし、すすきを飾り、静かに満月をながめました。また、里いもをお供えすることから「いも名月」と呼ぶこともあります。

今日は、お月見にちなんで丸い白玉団子を使ったお月見団子汁が出ています。収穫に感謝して味わっていただきましょう。

令和4年 9月 9日(金) 第二学校給食センター

(献立名) 麦ごはん 牛乳 鶏肉の瓜瓜南蛮漬け  
キャベツのおかかあえ 秋の月菜汁



【ひとロメモ】

## 十五夜について知ろう

(食文化)

明日9月10日は十五夜です。月見は、十五夜と十三夜に、秋の収穫物を供えて月をながめる行事です。

月見のお供えものにはすすきや団子、さといもなどがあり、それぞれに意味があります。月見のすすきは、「依代」(神がよりつくもの)といわれています。団子は、米を粉にして作った団子で、収穫への感謝の意味があります。そのほかさといもは、十五夜の時期にさといもがとれる時期でもあり、その恵みに感謝をする意味があります。今日の給食では、月菜汁に白玉だんごを入れています。

明日、美しい月が見られるといいですね。

令和4年 9月 9日(金) 飯山学校給食センター

【献立名】麦ごはん

牛乳 高野豆腐の落とし揚げ  
キャベツの昆布和え 月菜汁

《今日の丸亀産の食材》

玉ねぎ、きゅうり、にんにく  
小松菜、葉ねぎ、チンゲン菜



【ひと口メモ】

## 十五夜について知ろう

(食文化)

今日のめあては「十五夜について知ろう」です。

昔の人が詠んだ歌に「月に、月見る月は多けれど、月見る月は、この月の月」という歌があります。この歌は「毎月のように月を鑑賞できる月があるけれど、名月を見る月といえはまさに今月のこの月だね」という意味だそうです。「この月の月」というのは、旧暦の8月15日の月のことで、今年は明日、9月10日の夜に見える月です。中秋の名月、または十五夜といって一年中で月がいちばん美しく見える日です。

満月を鑑賞するこの行事は、中国で始まり平安時代に日本に伝わってきました。この日には、昔から里芋、だんごなど、その年にとれた食べものをお供えし、すすきを飾り、静かに満月を眺めました。特に里芋をお供えすることから「いも名月」と呼ぶこともあります。

今日の給食では白玉団子入りの月菜汁が登場していますね。今夜は、家で家族一緒にお月見してみましょ。